

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年03月30日

計画の名称	埼玉県流域下水道整備計画（重点計画）												
計画の期間	平成30年度～平成31年度（2年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	埼玉県												
計画の目標	流域下水道の重点的な整備を推進するため、埼玉県中期経営計画に基づき、汚水処理能力の増強や汚泥有効活用施設を整備し環境負荷の低減、資源循環の創出を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	14,849	A	14,849	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
1	下水道処理人口普及率を82%(H27)から83%(H31)に増加させる。 下水道処理人口普及率 下水道処理人口(人) / 行政人口(人)	82%	83%	83%
2	下水汚泥の有効活用量を0m3(H27)から412,000m3(H31)に増加させる。 下水汚泥の有効活用量 計画期間中に有効活用を開始する下水汚泥量(m3/年)%	0m3/年	0m3/年	412000m3/年

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
・計画の期間：平成27年度～平成31年度・当初は1つであった整備計画を切り分けたため、計画を跨る成果目標については、事後評価等を関連する整備計画と一体的に実施する。														

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
												H30	H31	R02	R03	R04					
一体的に実施することにより期待される効果																					
備考																					
下水道事業	A07-001	下水道	一般	埼玉県	直接	埼玉県	終末処 理場	新設	元荒川終末処理場	消化タンク施設 5,000 m3 x 3基	桶川市						15		-		
	A07-002	下水道	一般	埼玉県	直接	埼玉県	終末処 理場	新設	中川終末処理場	沈砂池ポンプ棟増設(建築・ 設備等)	三郷市							6,965		-	
	A07-003	下水道	一般	埼玉県	直接	埼玉県	終末処 理場	新設	中川終末処理場	消化タンク施設 9,000 m3 x 4基	三郷市							7,769		-	
	A07-004	下水道	一般	埼玉県	直接	埼玉県	管渠(汚水)	新設	荒川上流流域 新規幹線	管渠築造	深谷市							100		-	
												小計							14,849		
												合計							14,849		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
策定主体にて評価を実施し、その結果を下水道局事業評価委員会に報告し参考意見を聴取した。	令和5年3月
	公表の方法 埼玉県下水道局下水道事業課のホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	下水道処理人口普及率を82%(H27)から85%(H31)に増加させた。 下水汚泥の有効活用量を0m <sup>3</sup> (H27)から235,647m <sup>3</sup> (H31)に増加させたが目標達成には至らなかった。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況(必要に応じて記述)	
特記事項(今後の方針等)	
次期計画である「埼玉県流域下水道整備計画(令和2年度~令和6年度)」において、事業の効率化、低コスト化、予算の重点配分等を検討をしながら引き続き計画的な整備を推進し、環境負荷の低減・資源循環の創出を図る	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	下水道処理人口（人） / 行政人口（人）	
	最終目標値	83%
	最終実績値	85%
2	計画期間中に有効活用を開始する下水汚泥量（m3/年）%	
	最終目標値	412000m3/年 中川流域処理場の汚泥消化槽の関連工事が入札不調 消化槽の基礎工事中に予想外にガラが多く、対応に時間がかかった
	最終実績値	235647m3/年